

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	52	事業名	放課後子ども教室事業	担当部課	福祉部 子育て支援課
------	----	-----	------------	------	------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち		
		分野別項目	2	住民の自主的な生涯学習活動を支える		
		施策の進め方		学習機会の提供		
	まちづくり行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～		
		政策分類	(31)	放課後子ども教室の充実		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 定員最大60人で給食開始日から3月末までの期間で、授業終了後から午後4時50分の間で開室。体験プログラムとして、ボランティアの講師を招いて、将棋体験、茶道体験、絵手紙体験、指導員による遊び体験などの事業を実施。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 西小学校及び南小学校に通う小学校1年生から6年生までの児童				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 西及び南小学校児童の放課後の安全な居場所づくりを推進する。				
	事業を構成する事務事業	① 放課後子ども教室運営事業	拡充	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			
決算							8,123
人件費(B)	千円	決算					4,902
総コスト(A)+(B)	千円	決算					13,025

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 放課後子ども教室加入希望者の受入れ割合	%		目標		100	100	100
実績					85	92	75.5	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A (放課後子ども教室においての) 参加児童数／申込者数								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の実施町：瀬戸市、日進市、豊明市、東郷町
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 放課後子ども教室参加希望者増加のため、定員を改正した(西、南とも50人→60人)が、待機児童が発生している状態である。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今度も、放課後子ども教室に対するニーズは高まると考えられるため、引き続き、放課後の子どもの居場所づくりに努める。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 「長久手市 子ども・子育て支援事業計画」に基づき、平成31年度までに全小学校に放課後子ども教室を開室すると共に、うち半数で放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型を実現することとしている。この方向性に基づき、平成28年度から東小学校において新たに教室を開設し、放課後児童クラブを上郷児童館から移転し、市内初の一体型を進める。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 放課後子ども教室事業

番号	①	事務事業名	放課後子ども教室運営事業								
----	---	-------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 西小学校及び南小学校の放課後子ども教室登録者に対し、小学校の余裕教室を利用して、放課後子ども教室を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 児童の放課後の安全な居場所づくりを推進する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				9,098
		決算				8,123

3. 活動推移

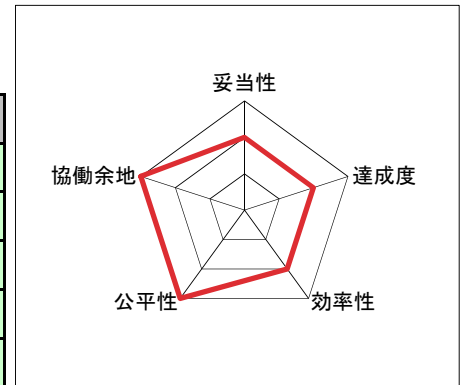
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
放課後子ども教室登録者数	人	目標		65	100	120	
		実績		80	100	120	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
「長久手市 子ども・子育て支援事業計画」に基づき、平成31年度までに全小学校に放課後子ども教室を開室すると共に、うち半数で放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型を実現することとしている。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
今度も、放課後子ども教室に対するニーズは高まると考えられるため、引き続き、放課後の子どもの居場所づくりに努める。 この方向性に基づき、平成28年度から東小学校において新たに教室を開設し、放課後児童クラブを上郷児童館から移転し、市内初の一体型を進める。